



かわにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第16号
令和3年1月15日

コロナ禍を乗り越えた先には — 新しい年を迎えて

校長 小 塚 さとみ

新年明けましておめでとうございます。

2学期の終業式、生徒たちに「家族で静かな冬休みを、よい新年を。」と話しました。異例の年末年始をどのように過ごされたでしょうか。依然として新型コロナウイルス感染症の不安が続くなか、令和3年の新しい年を迎えることとなりました。本年もまた、変わらぬご支援をお願いします。

さて、去年は臨時休校、緊急事態宣言と、かつて経験したことのない対応が求められ、教育活動も大いに制限を受けることとなりました。幸い当校は、高等学校サイズの広い校舎と高等部のみの生徒31名の在籍数であることから、“3密を避ける”ための好条件が整っており、学校再開後においても工夫しながら学習に取り組むことができました。オリンピック・パラリンピック教育推進事業のユニバーサルボッチャ交流会・車椅子バスケットボール体験会・クロアチア文化に親しむ講演を始め、七夕飾り、外部講師をお招きしての茶道体験・ちんころ作り・フラワーアレンジメントと、密にならない大体育館を大いに利用し感染予防策を十分に講じた上で、様々な体験活動を行うこともできました。しかしながら、大幅な授業時数減少、修学旅行の計画変更、前期現場実習中止、行事への来賓無参加等、コロナ禍による影響は大きく、生徒たちにも保護者の皆様にも不安やストレスを与えてしまうこととなりました。

この「コロナ禍」と呼ばれる未曾有の状況により、私たちは“新しい生活様式”への転換を余儀なくされ、心や身体を疲労しました。しかし、それはとても自然なことです。まずは自分の心や身体の声を大事に聞き取り、丁寧にゆっくり向き合うことが大切だと思います。また、ものの捉え方や考え方も変化したように思います。試練や苦難は、私たちに多くを気付かせてくれました。自分の中に眠っていた様々な創造・想像の力、動き出そうとする力が少しずつ目覚め、一人一人の力が時代を大きく動かそうとしている、そんなふうに感じています。また、人とのつながりを大切にしたい、健康的な食事・適度な運動・十分な睡眠など、昔から体に良いとされている習慣を大切にしたい、原点回帰という声も多く聞こえてきます。

生徒たちは、この間、突然の臨時休校や緊急事態宣言への驚きや恐れ、卒業式・入学式が異例の対応となった悔しさ、友達と会えない寂しさ、医療現場等で働く方々への尊敬の思いなど、色々なことを感じ、たくさん考えたことでしょう。このことは必ず強みになるはずです。ですから、生徒たちには、コロナ禍で自分の身に降りかかった辛いこと、悲しいことも忘れずに覚えておいてほしいと思うのです。このことを糧に世の中を変える力にしてほしいと願っています。新型コロナウイルスが収束し、混乱した社会が立ち直った後の、よりよい日本や世界を創り上げていくのは、間違いなく今の若者なのですから。

コロナ禍を乗り越えた先には、希望がある。希望とは、未来を信じる力、世の中を変える力。希望を胸に、新たな1年を過ごしていきましょう。



新年の誓い・・・今年の抱負

1月7日（木）に3学期始業式が行われました。この日から週末にかけて大寒波が訪れ、大雪になると予報が出ていましたが、始業式当日の空は青く澄み渡り、天気も気持ちも晴れ晴れとスタートしました。

【各学年、学級の生徒代表の新年の誓い】

1年 柳 陽向

3学期に頑張ることは2つあります。1つ目は体調管理です、3学期は、しっかり体調を整え毎日元気に登校したいです。2つ目は、職業技能のバックヤードの授業で計量やラッピングを上手くできるように、話をよく聞いて頑張りたいと思います。

2年 鈴木 愛斗

3学期に頑張ることは、2つあります。1つ目は、失敗をしてしまったら、どうしてダメなのか理由を考え、次、失敗しないために、どうすればよいかを自分で考えることを頑張りたいです。2つ目は、人に質問をする前に、自分で考えることを頑張りたいです。

2年 羽鳥 将成

これまで、あいさつや報告をきちんとすること、ミスをしないうちに慎重に作業をすることを心掛けてきました。クラフト班の作業でもいろいろな仕事をしますが、いつもていねいに作業することを心掛けています。3学期は、様々な活動の場面で、相手に伝わるように、声を出していきたいです。

3年 金子 智暉

私が3学期に頑張りたいことは、2つあります。1つ目は漢字検定です。準2級の合格を目指しています。冬休みも漢字練習を頑張りました。難しい漢字ばかりですが、目標を達成したいです。2つ目は就労に向けての現場実習です。相手の顔を見て、伝わるような声であいさつをするようにします。

卒業までの3ヶ月、やるべきことをやり、落ち着いて過ごしたいです。

【芸術活動（全校書道）】

1月12日（火）5～6限に、体育館で全校書道が行われました。3学期も自分の目標の言葉を筆を使って想いを込めながら色紙に書きました。



1月7日 始業式
生徒玄関前の雪景色



後期の活動紹介（学校評価資料）

【全校書道：学期の目標設定を大切にしています】

毎学期のはじめに、全校書道の時間に学期目標を色紙に書いています。目標は生徒ひとりひとりが担任とじっくり話し合い、お互いの意見をすり合わせながら、双方が納得できるものであることを大切にしています。色紙に書くことで覚えやすく、意識付けとしても有意義な時間です。



【全校美術：QOL 向上のために】

卒業後のQOL（クオリティー・オブ・ライフ＝生活の質）の向上を目指して、外部講師による「茶道体験」、「フラワーアレンジメント」、「ちんころ作り」を行いました。生徒達は普段体験できない内容に興味津々で、外部講師の先生方の話を食い入るように聞き、花寄せで花を生けてお抹茶を点てたり、思い思いに作品制作に没頭したりと、貴重な経験をしました。

【修学旅行、宿泊・校外学習：実践的な進路・余暇学習として】

3学年は新潟市に修学旅行、2学年は長岡市に宿泊学習、1学年は市内の公共施設や福祉作業所へ出掛けました。どの校外学習も、卒業後の生活を視野に入れ、実践的な力を育成する場面として活動を計画・実施しています。生徒達は、楽しみながら多くの経験を積み、実生活で必要な技能や自信を身に付けています。



**【Kawanishi はたちを祝う会：
ミニ成人式としての式典行事】**

保護者から新成人へ「贈る言葉」が伝えられ、それを受けた新成人となる卒業生が「はたちの決意」を立派に発表しました。毎年、大変心温まる式典となっています。



【ユニバーサルボッチャ交流会、車いすバスケットボール体験会・クロアチア文化に親しむ講演：

オリンピック・パラリンピック教育推進事業】

オリ・パラ教育推進事業として、県内の3校のうちのひとつに当校が選出され、県内外で活躍されている選手を相手に、ボッチャや車いすバスケットボールで対戦し、熱戦を繰り広げました。一流選手の真剣な眼差しや息遣いを感じる貴重な機会となりました。



【スポーツフェスタ、やまゆり祭：保護者参加型の体育祭と文化祭】

いずれの行事も新型コロナウイルス感染症への感染防止のため縮小した形となりましたが、保護者の皆様にも体験・参加していただける内容を考えて実施しました。保護者の皆様のおかげで、生徒たちも普段の活動で積み重ねてきたものを精一杯実践したり発表したりできました。

